

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	某大規模事業所の就労者における現在歯数と歯科保健行動、定期健診項目の関連
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>対象者</p> <p>2021年4月、5月に行われたYKK 歯科健診と2022年4月～2023年3月に行われたYKK 定期健診の受診者</p> <p>研究責任者</p> <p>新潟大学大学院医歯学総合研究科予防歯科学分野 竹原祥子</p>	
② 概要	
<p>残っている歯の本数が多い人ほどお口全体や身体が健康であることが分かっていますが、働く世代は忙しく歯科医院を受診することができず歯を失うリスクが高まります。そのため職場での歯科保健を充実させる必要がありますが、全身の病気に比べて歯科は優先度が低いのが現状です。また、成人が歯を失う原因として大半を占めている歯周病は、糖尿病をはじめとした全身疾患と関連があります。これについては既に様々な論文が出ていますが、働く世代を対象にした歯科健診、定期健診を分析した研究は多くありません。したがってYKK 歯科健診を受診した職員の方々を対象として、年齢、性別、身長、体重、血圧、歯科保健行動に関する問診票、歯の検査、採血に関するデータを歯科健診票、定期健診結果から転記し、統計解析を行う予定です。個人が特定できないようにデータを収集しますので、名前や病気などの個人情報公開されることはありません。</p> <p>お申し出が無い場合、本研究にデータを使用しますが、この研究に参加されるかどうかは強制されるものではありません。この臨床研究に参加されない場合、あるいは途中で同意を取り消された場合でも、歯科健診の際に不利益を受けることはありません。</p>	
④申請番号	2022-0229
⑤研究の目的・意義	YKK で実施された歯科健診、定期健診データを使用し、働く世代における歯の数と歯科保健行動、定期健診項目の関連について、年齢性別を含めて分析することで、職場での歯科保健対策を考える際に役立てることができると考えています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	働く世代における歯の数と歯科保健行動の関係を明らかにするために、歯科健診受診票、定期健診結果に記載されている情報を利用します。研究成果は学会発表や論文に使用されますが、個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、身長、体重、血圧、歯科保健行動に関する問診(歯磨きの習慣や歯科受診の頻度について)、歯の検査結果、採血の情報を転記し、統計解析します。

<p>㊿利用する者の範囲</p>	<p>新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。</p> <p>新潟大学：</p> <p>研究責任者 竹原祥子（新潟大学大学院医歯学総合研究科予防歯科学分野 准教授）</p> <p>研究分担者 小川祐司（新潟大学大学院医歯学総合研究科予防歯科学分野 教授） 金子昇（新潟大学医歯学総合病院 予防歯科 講師） 竹内涼子（新潟大学大学院医歯学総合研究科組織再建口腔外科学分野 助教）</p> <p>研究協力者 大久保光（新潟大学医歯学総合病院 予防歯科 医員）</p> <p>共同研究機関：</p> <p>曾山善之（YKK株式会社黒部健康管理センター 産業歯科医） 中川秀昭 櫻井勝（金沢医科大学衛生学 教授）</p>
<p>㊿試料・情報の管理について責任を有する者</p>	<p>新潟大学：</p> <p>医歯学総合研究科予防歯科学分野 准教授 竹原祥子</p> <p>共同研究機関：</p> <p>YKK株式会社黒部健康管理センター 産業歯科医 曾山善之</p>
<p>㊿お問い合わせ先</p>	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科予防歯科学分野</p> <p>氏名：竹原祥子</p> <p>Tel：025-227-2858</p> <p>E-mail：takeh@dent.niigata-u.ac.jp</p>